

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2023年7月14日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)

兵庫県神戸市西区高塚台3丁目1番35号

氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)

神港精機 株式会社 取締役社長 北中 隆司

(代理人)滋賀守山工場長 諏訪 和也

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例

第21条第1項

第22条第2項において準用する同条例第21条第1項

の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

|                                     |                       |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 事業者の氏名<br>(法人にあっては、名称<br>および代表者の氏名) | 神港精機 株式会社 取締役社長 北中 隆司 |
| 事業者の住所<br>(法人にあっては、主たる<br>事務所の所在地)  | 兵庫県神戸市西区高塚台3丁目1番35号   |

1 事業所の概要

|            |   |   |   |     |              |
|------------|---|---|---|-----|--------------|
| 事業所の名称     | 神港精機株式会社 滋賀守山工場   |   |   |     |              |
| 事業所の所在地    | 滋賀県守山市三宅町30番地   |   |   |     |              |
| 主たる事業      | 細分類番号   | 2 | 6 | 9 3 | 真空装置・真空機器製造業 |
| 該当する事業者の要件 | <input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を<br>県内に有する事業者                                     |   |   |     |              |
|            | <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室<br>効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を<br>県内に有する事業者 |   |   |     |              |
|            | <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者   |   |   |     |              |

2 計画期間および報告対象年度

|        |      |    |   |      |    |
|--------|------|----|---|------|----|
| 計画期間   | 2021 | 年度 | ～ | 2026 | 年度 |
| 報告対象年度 | 2022 | 年度 |   |      |    |

3 計画の実施状況

|         |        |
|---------|--------|
| 計画の実施状況 | 別添のとおり |
|---------|--------|

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の実施状況

| 取組項目     | 取組の内容                               | 取組の実施状況                                |
|----------|-------------------------------------|--|
| 1 運用対策   | デマンド監視システムによる節電対策                   | 継続実施中。目標電力値を超えないように監視を行い、節電を図る。        |
| 2 設備導入対策 | 2号棟VP組立場MB室 省エネタイプの空調機の更新による空調効率の改善 | 2021年12月、MB室空調機2台のうち1台を省エネタイプの機種に更新する。 |
| 3 設備導入対策 | 厚生棟の照明をLEDタイプに更新                    | 2022年9月、厚生棟廊下の照明をLEDタイプに更新し、節電を図る。     |
| 4 設備導入対策 | 守衛室断熱塗装の実施による室内の空調効率の改善             | 2022年2月、守衛室断熱塗装工事が完了し、室内の空調効率を改善する。    |
| 5        |                                     |  |
| 6        |                                     |  |
| 7        |                                     |  |
| 8        |                                     |  |

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

| 温室効果ガスの種類 | 取組の内容 | 取組の実施状況 |
|-----------|-------|---------|
| 1 該当なし    |       |         |
| 2         |       |         |
| 3         |       |         |

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

| 守山工場                           | 基準年度  | 実績     |        |        |        | 計画     |        |        |  |
|--------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
|                                | 2013年 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |  |
| CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率目標 |       |        | 24.91% | 26.36% | 27.78% | 29.18% | 30.54% | 31.89% |  |
| CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率実績 |       | 23.43% | 30.45% | 42.00% |        |        |        |        |  |

| 全社合計                           | 基準年度  | 実績     |        |        |        | 計画     |        |        |  |
|--------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
|                                | 2013年 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |  |
| CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率目標 |       |        | 23.13% | 24.81% | 26.45% | 28.06% | 29.64% | 31.17% |  |
| CO <sub>2</sub> 排出量(原単位)の削減率実績 |       | 21.41% | 25.90% | 34.15% |        |        |        |        |  |

全社売上は2.1%増加、守山工場は9.2%増加、過年度からの省エネ対策の効果があり、昨年度よりCO<sub>2</sub>排出量は減少、温室効果ガス削減率は目標を上回る結果となりました。

省エネ診断を受け、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向け、専門家から省エネのための改善対策の提案(2023年1月)がありました。運用改善提案として「コンプレッサ吐出圧力の引下げ」「エア漏れの低減」「重油暖房機の空気比の適正化」、設備投資案として「EHPの高効率化更新」「変圧器の高効率化更新」「水銀灯・蛍光灯のLED化更新」「太陽光発電設備の設置」等があり、社内で調査・検討を行い取り組めます。

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

| 取組の内容  | 取組の実施状況   |
|--|---|
| <p>弊社はあらゆる産業で使用される真空ポンプ・装置の開発・製造・販売をしています。</p> <p>真空ポンプにおいては、真空ポンプ能力の効率化を計り、従来製品よりモータ出力を小さくしたポンプを生産し、省電力化を行います。また、オイルの使用を少なくした、ドライポンプを生産し、廃棄オイルの削減を行います。省電力化や廃棄オイル処理における温室効果ガスの削減に貢献するものです。</p> <p>真空装置においては、低摩擦抵抗(DLC膜)の成膜装置を生産し、自動車の駆動系にコーティングすることで駆動エネルギーの伝達効率を高め、燃料や電力の消費を低減し、温室効果ガスの削減に貢献するものです。本計画期間において、上記の製品の拡販を通じて、低炭素社会づくりに貢献するものです。</p> | <p>真空ポンプにおいては、オイルの使用量を少なくしたドライポンプの拡販により受注量が増加している。ドライポンプを空冷化した新商品を開発し、販売を開始した。冷却水を使用しないことで排水等の削減に貢献している。</p> <p>真空装置においては、DLC膜成膜装置の拡販により、自動車産業等に納入した。</p> |

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

|  |
|--|
| <p>温室効果ガス削減に貢献する商品の拡販が、順調に推移しており、今後の貢献に期待できる。また、次世代太陽電池の開発機を受注し、今後の脱炭素エネルギー社会への貢献が期待される。</p> |
|--|